

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Baseline profile of participants in the Japan Environment and Children's Study (JECS)

和文タイトル: 母親・父親及び出生児に関する基本属性

ユニットセンター(UC)等名: コアセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Journal of Epidemiology

年: 2018 月: 卷: 28 頁: 99-104

筆頭著者名: 道川 武紘

所属UC名: コアセンター

目的:

エコチル調査参加約10万組のお母さんとお子さん(約5万人のお父さん)についての基本情報を集計し、国の統計データと比較することが目的です。

方法:

エコチル調査参加約10万組のデータを用いて、お母さんの情報(出産時年齢、喫煙、飲酒、職業、妊娠出産歴など)とお子さんの情報(単胎か、性別、普通分娩か帝王切開か、出生時の体重・身長など)、またお父さんの情報(年齢、喫煙、飲酒、職業など)を集計しました。お母さんとお子さんの集計データについて、厚生労働省が実施している人口動態調査(出生等に関する全数調査)に基づいて作成された人口動態統計と比較しました。

結果:

お母さんとお子さんの情報は人口動態統計の情報とほぼ一致していました。20代での出産がエコチル調査では36.6%、人口動態統計では36.3%とほとんど変わらず、30代での出産は57.8%で一致していました。お子さんの性別は両者とも、男児51.2%、女児48.8%でした。単胎出生児における低出生体重児(2,500g未満)割合も似通っていました(エコチル調査では8.1%、人口動態統計では8.3%)。

考察:(研究の限界を含める)

登録された103,099妊娠の一部(約2%)について出産時の情報を把握できませんでしたが、エコチル調査データは日本の出産状況を反映していると言えます。

結論:

多くのお母さん、お父さんに調査の趣旨にご賛同いただき参加登録をいただいたことにより、エコチル調査データが日本の出産状況に近い非常に重要な調査データであることが示されました。